

18歳意識調査 「第23回 - 格差社会 -」詳細版

日本財団 2020年3月30日

目次

調査概要	3
世界的に様々な格差が拡大していると思うか	5
日常生活の中で経済的な格差を感じることはあるか	6
日常生活の中で格差を感じる理由	7
日常生活の中で格差を感じない理由	8
格差拡大の原因	9
格差は今後どうなると思うか	10
格差は是正できると思うか	11
格差を是正するための対策	12
格差を是正できないと思う理由	13
格差社会で生きていくためにどのような生き方をするか	14
「同一労働同一賃金」認知	15
「同一労働同一賃金」支持	16
「世界の富の偏在」をどう思うか	17
「世界の富の偏在」について 「仕方がない」「わからない」 回答理由	18
「世界の富の偏在」について 「問題だ」 回答理由	19

調査概要「18歳意識調査」 -格差社会-

調査対象 全国の17歳～19歳男女

回答数 1000

※下記の割付にて回収

	17歳	18歳	19歳	計
男性	166	167	167	500
女性	166	167	167	500
計	332	334	334	1000

調査除外 下記の関係者は調査から除外
印刷業・出版業/マスコミ・メディア関連/
情報提供サービス・調査業/広告業

実施期間 2020年2月21日（金）～2月24日（月）

調査手法 インターネット調査

※注記：本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

詳細

世界的に様々な格差が拡大していると思うか

- 72.3%が格差が拡大していると思うと回答。「思わない」(7.4%)を大きく上回る。

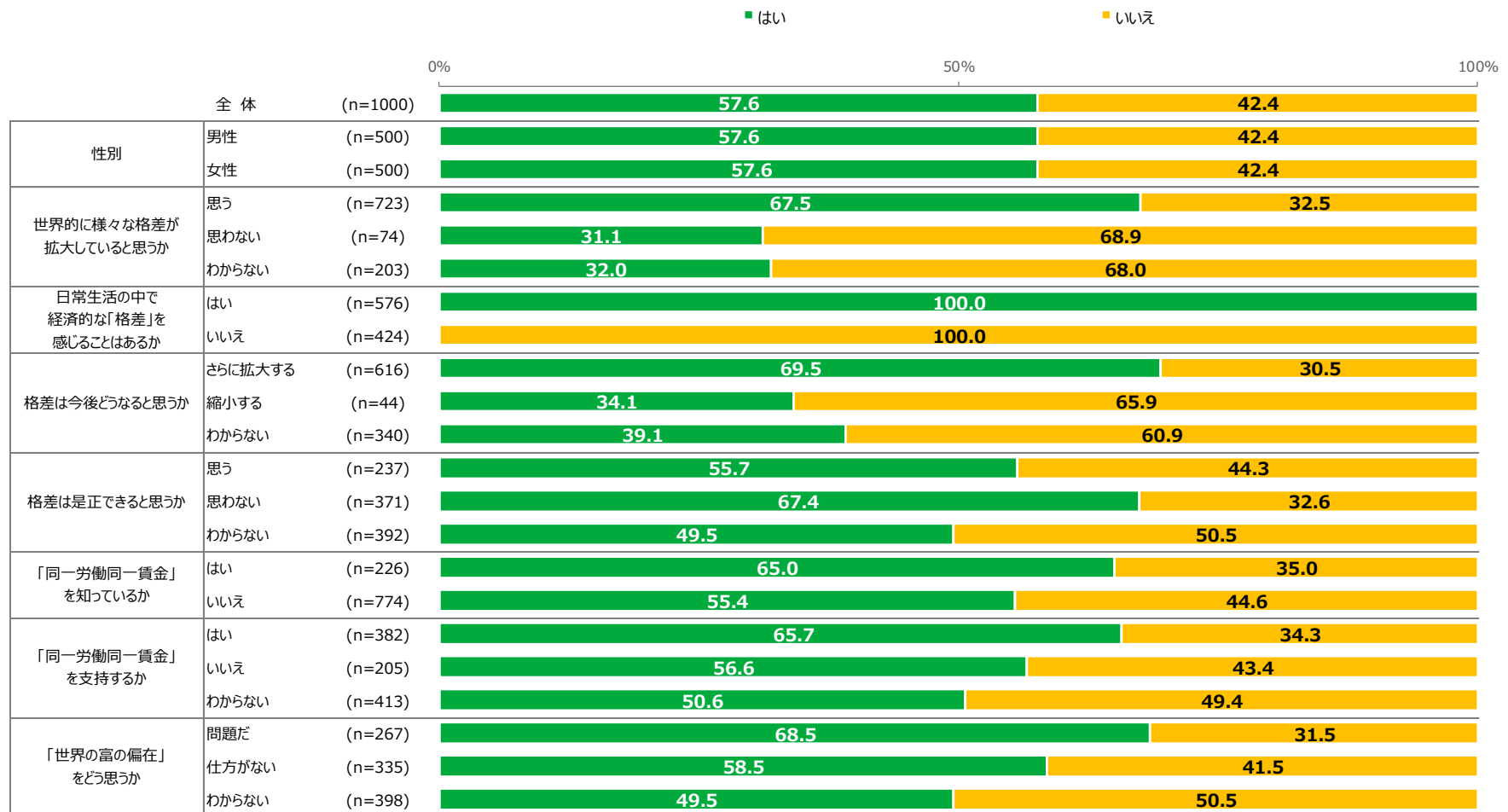
Q 世界的に様々な格差が拡大していると報じられています。そう思いますか。



日常生活の中で経済的な格差を感じることはあるか

- 「はい」が57.6%と、過半数が日常生活の中で経済的な格差を感じている。

Q 日常生活の中で経済的な「格差」を感じることはありますか。



日常生活の中で格差を感じる理由

- ・ 日常生活の中で格差を感じる場面として、「服のブランド物やゲームのソフト所持数など」「周りの友人と比べて、外食にかかる金額や頻度が少ないから」など、自分と身近にいる友人を比較して格差を感じている回答が多く見られた。
- ・ また、「金銭事情により進学を希望してもできない人がいる」「お金を多く持っている家庭とそうでない家庭で、受けることができる教育に差が生じていると感じるから」など、経済的な差により、受ける教育にも格差が生まれてしまっているという内容も目立った。

(前問：日常生活の中で経済的な「格差」を感じることはありますか。)

Q 前問でそのようにお答えになった理由をご記載ください。(自由回答抜粋) (はい：n=576)

「はい」回答理由

周囲の人と持っている物で感じる格差

- ・ ある友達は、数回着たものは捨ててしまっ、また新しい服を身につけているが、べつの家では何回も同じ服を着回している (女性)
- ・ 高校に金持ちが多く、旅行の回数やグリーン車を気軽に使えるかなど日常生活の金銭感覚がずれていた。消費税の増税のダメージ感覚もずれていた (女性)
- ・ 学校に通っている時は制服が小さくなったらすぐに買い替えてもらえる子、小さくなくても買い替えてもらえず何年も履いて卒業した兄弟のお下がりももらう子など子供社会でも目に見える形で経済的格差はあった (女性)
- ・ 金銭的に余裕がなく必要なものが揃えられないため。 (男性)
- ・ 好きな物がなかなか買えない (女性)
- ・ 私はアルバイト尽くして中々遊びに行けないのに、アルバイトもしていない人達が毎日遊びに行ってるのを見るから。 (女性)
- ・ 周りの友人と比べて、外食にかかる金額や頻度が少ないから。 (女性)
- ・ 服のブランド物やゲームのソフト所持数など (男性)
- ・ 裕福な家庭の同級生は沢山本を買ったり、塾に通ったりしているから (男性)
- ・ 欲しいものを自由に買えたり、やりたいことを自由に出来たりする人とできない人がいるから。 (女性)

教育で感じる格差

- ・ お金持ちほど偏差値の高い一流大学への進学者が多い (男性)
- ・ 医科大へは医師や金持ちの子供しか行けない (男性)
- ・ 金銭事情により進学を希望してもできない人がいるから。 (女性)
- ・ 高校生でも各家庭の経済状況が違うため、お金の使い方や学習、スポーツの環境に差があったから (男性)
- ・ 自分は恵まれた環境にいるが、奨学金などがないと知能が優れていたとしても学業に専念できない学生がいるから。 (女性)
- ・ 奨学金を受けている人、受けずに全てを親に払ってもらいたい欲のままに生きている人、その両方が学生に多いからです。 (女性)
- ・ 所得の高い人は大学を自由に選ぶことができるから。 (女性)
- ・ 大学の学費を払えなくて、大学進学を諦める優秀な子を知ってるから (男性)
- ・ 大学行けない友達が居た (女性)
- ・ お金を多く持っている家庭とそうでない家庭で、受けることができる教育に差が生じていると感じるから。 (女性)

その他

- ・ お金がある方が選択肢が広がっていくから。 (女性)
- ・ 生活保護受給者や、母子家庭の子供が不利な思いをしている (女性)
- ・ 年収が低い人ほど税金により収入が減るため (男性)
- ・ 税金が高くなり、低所得者の生活が厳しくなっている (女性)
- ・ ホームレスを見た時 (女性)
- ・ 給料の差が都会と田舎で違いすぎている気がする (女性)
- ・ クレジットカードのリボ払いなど手数料がかかるものを利用するのはお金がないからだし、手数料払った分お金は減るから結局お金ない人はお金搾取されるんだなーと。あと銀行の預貯金額が1000万円以上だとデビットカードの還元率2%とか書いてある銀行があって2%！ってびっくりしたし、まあ仕方ないことだけどこうやってお金って差ができていくんだなーと (男性)
- ・ 男女の差を感じる事が多くあるから。 (男性)

【日常生活の中で経済的な格差を感じることはあるか 回答理由「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

日常生活の中で格差を感じない理由

- 日常生活の中で格差を感じない理由として、「あからさまな貧富の格差を見ることがないから」「まわりには同じような境遇の人しかいないから」など、自分と周囲の人との差を感じていないという回答が多く見られた。
- また、「世界的に考えると日本は裕福な生活ができていると思うから」「日本はまだ裕福な国」「不自由なく生活出来ているから」など、自分を含めて困窮した生活を送っている人が周囲にいないため、実感として感じていない様子がうかがえた。

(前問：日常生活の中で経済的な「格差」を感じることはありますか。)

Q 前問でそのようにお答えになった理由をご記載ください。(自由回答抜粋) (いいえ：n=424)

「いいえ」回答理由

- あからさまな貧富の格差を見ることがないから。(男性)
- お金にそこまで困ってないから(女性)
- そう思えるほどの差を感じたことがないから。(男性)
- それ程日常生活の中で格差に関しては気にしていないから。(男性)
- ニュースで格差が広がっているとは聞かすが、日常生活で明確に感じることは無い。(女性)
- まだ学生で自分で稼いでないので、経済的な格差を感じることもないから(女性)
- まわりには同じような境遇の人しかいないから(女性)
- 一つの地域には同じような生活レベルの家庭が集まる傾向があるため日常生活では感じる機会が少ないから(女性)
- 格差を感じる時がないから(男性)
- 経済的に出来ること出来ないことはあると思うけど、格差というほどのことはあまり感じない。(女性)
- 自分が生きている範囲内では、格差で困っている人を見かけないから(男性)
- 実感がわからないから(男性)
- 世界的に考えると日本は裕福な生活ができていると思うから。(女性)
- 特に格差を感じるということがないから(女性)
- 日常的な生活で不自由を感じないから。また、自分の周りにも格差を感じる人がいないから。(女性)
- 日本はまだ裕福な国(女性)
- 不自由なく生活出来ているから(男性)
- 普通の暮らしはできているから(男性)

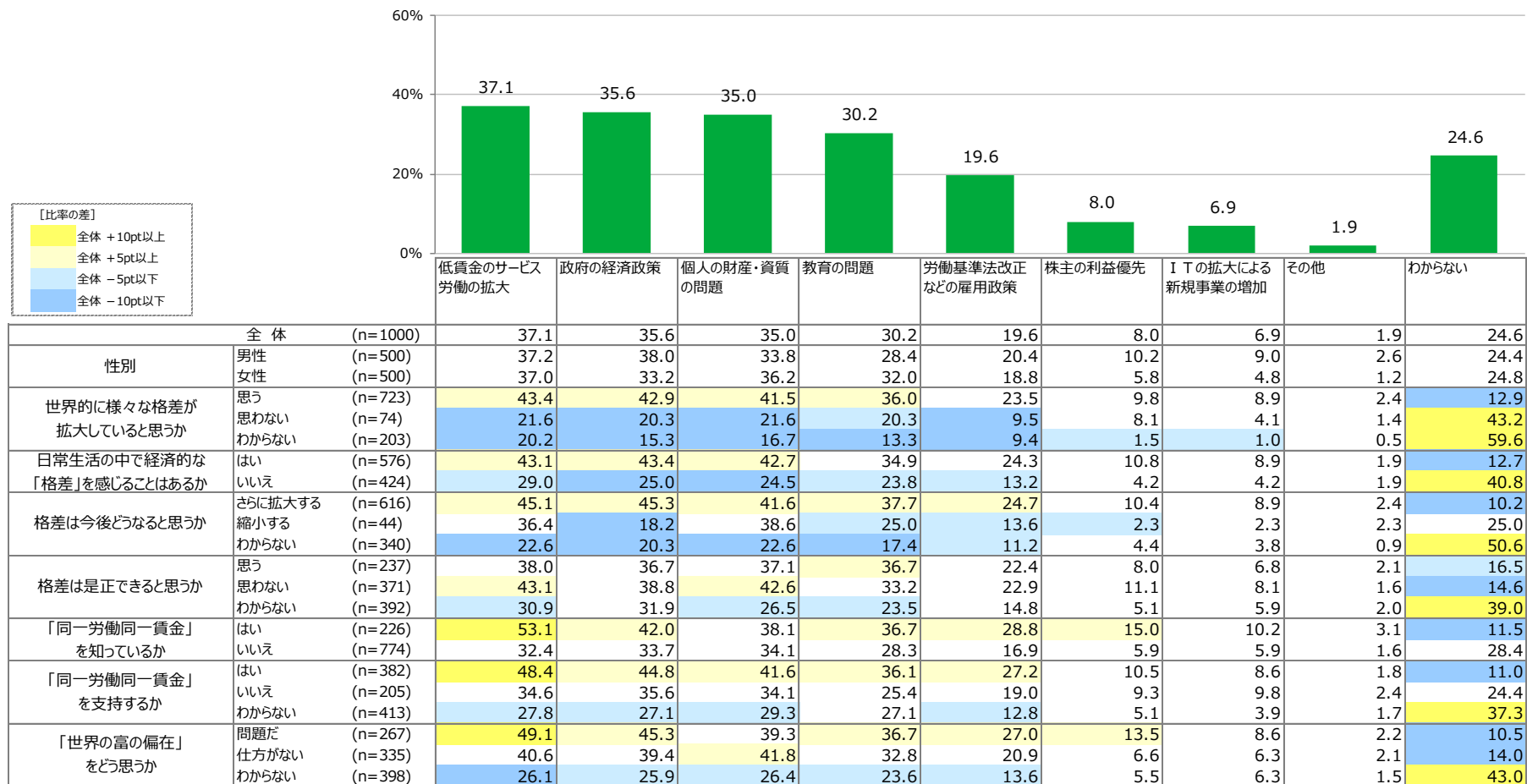
【日常生活の中で経済的な格差を感じることはあるか 回答理由「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

格差拡大の原因

- 格差拡大の原因として、「低賃金のサービス労働の拡大」(37.1%)が最多。次いで、「政府の経済政策」(35.6%)、「個人の財産・資質の問題」(35.0%)が同程度のスコアで続く。

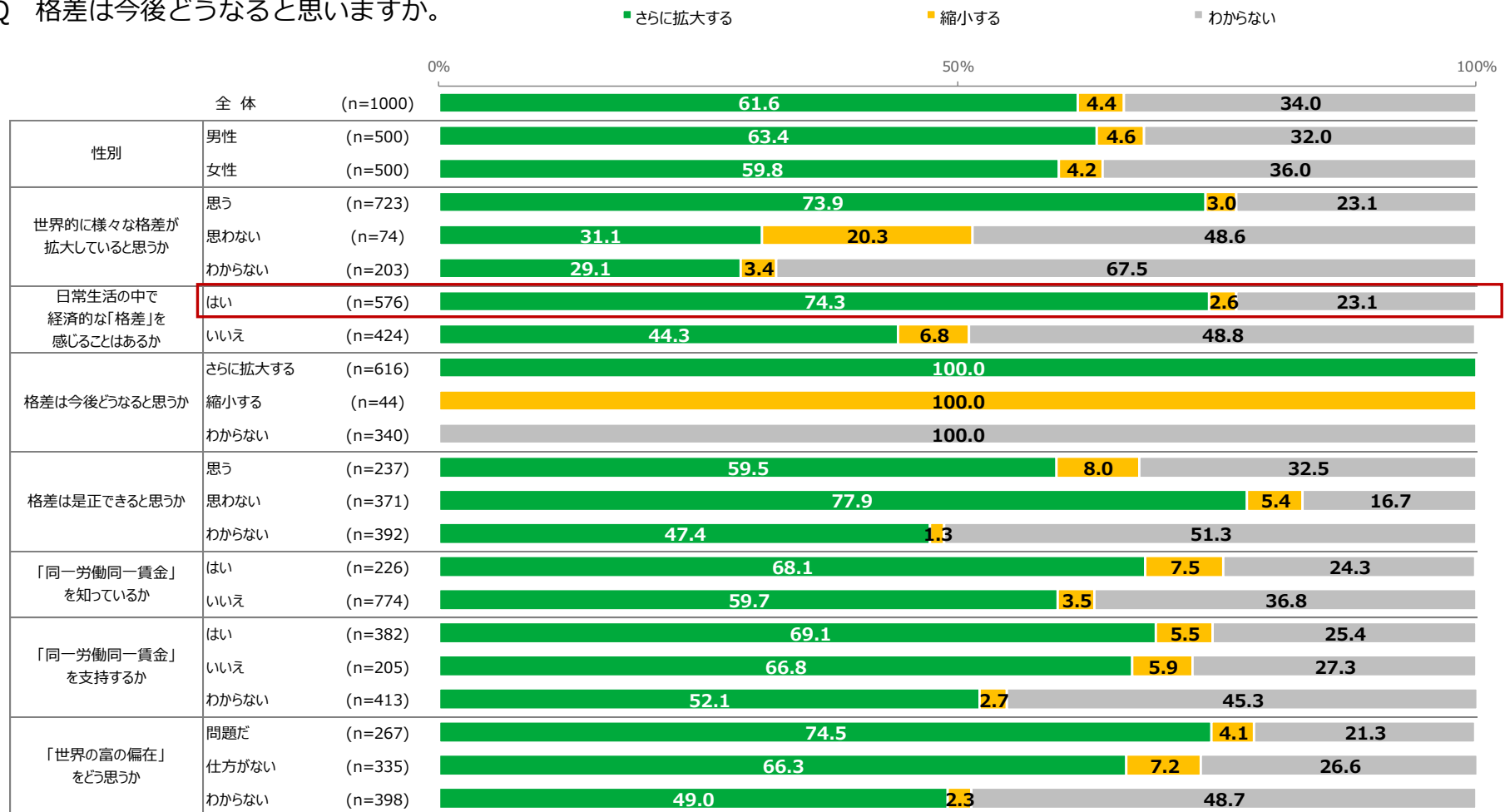
Q 格差拡大の原因は何だと思いますか。(複数回答)



格差は今後どうなると思うか

- 61.6%が「さらに拡大する」と回答。「縮小する」はわずか4.4%。
- 日常生活の中で格差を感じている層は「さらに拡大する」が74.3%となっており、現在格差を感じている人ほど、今後も拡大すると捉えている。

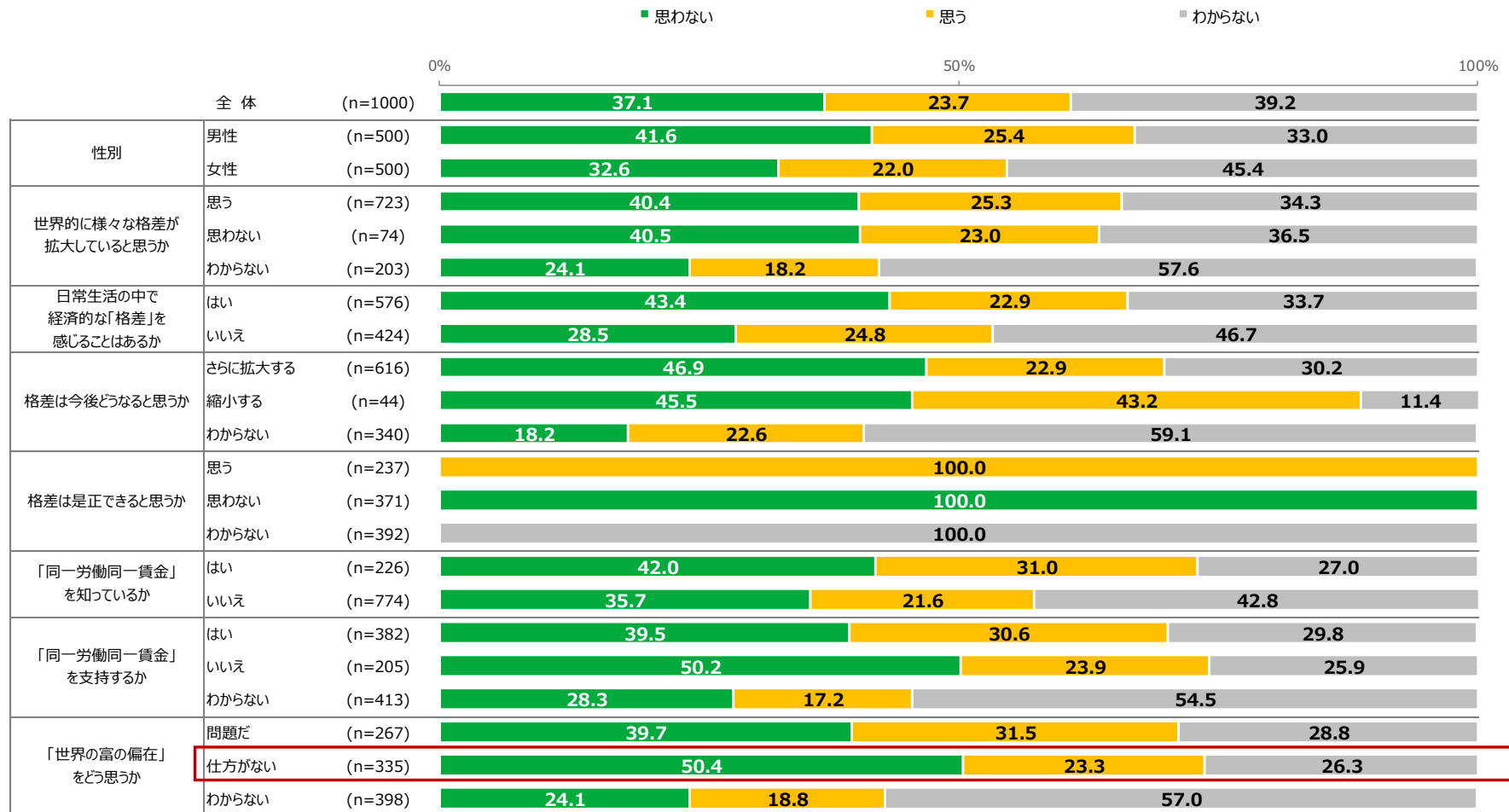
Q 格差は今後どうなると思いますか。



格差は是正できると思うか

- 「思わない」37.1%、「思う」23.7%と、是正できないと思っている人の方が多い。
- 「世界の富の偏在」について「仕方がない」と回答している層は、「思わない」(=是正できない)が50.4%と半数を占める。

Q 格差は是正できると思いますか。

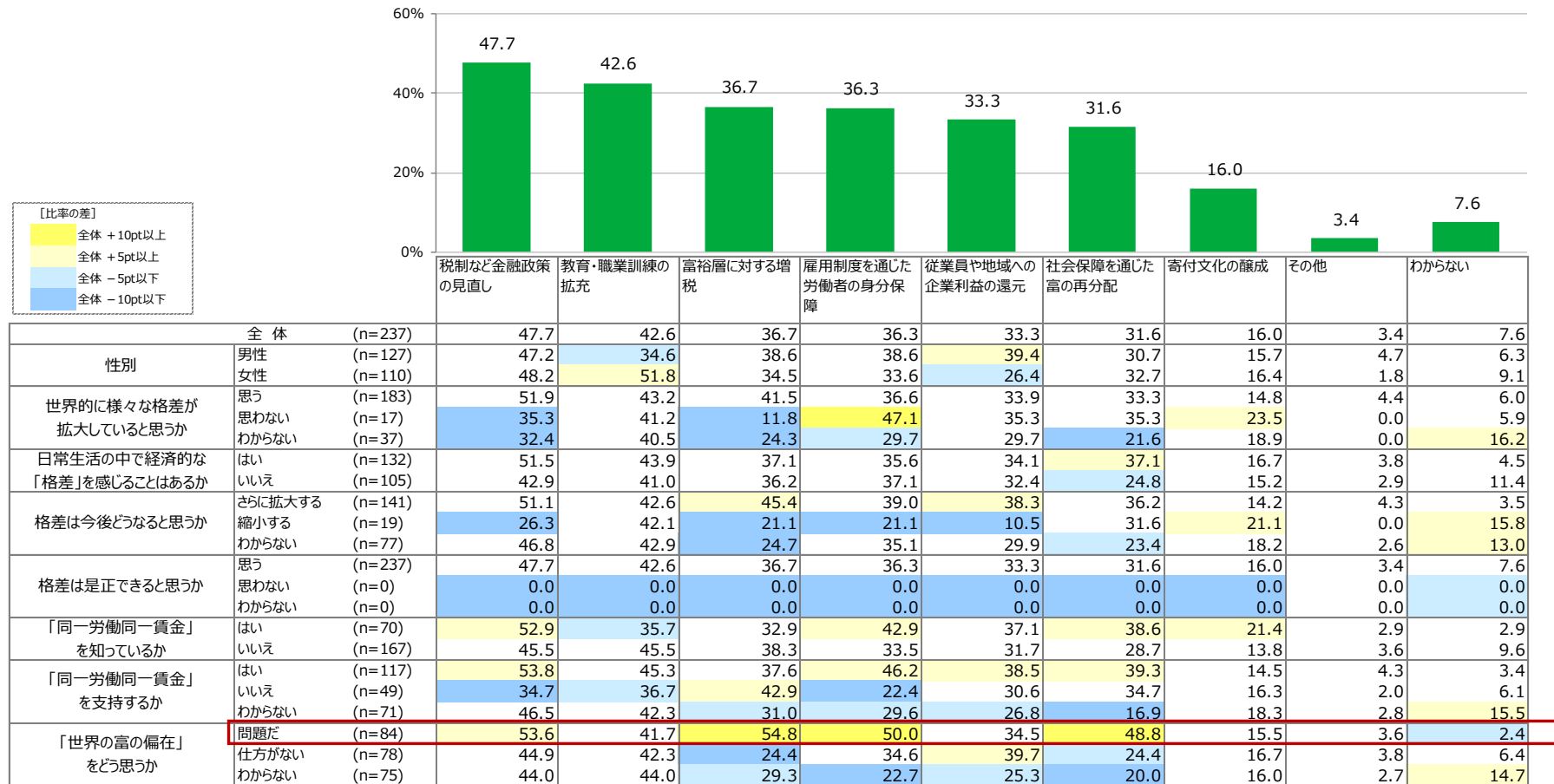


格差を是正するための対策

- 「税制など金融政策の見直し」(47.7%)が最多。
- 次いで、「教育・職業訓練の拡充」(42.6%)、「富裕層に対する増税」(36.7%)が続く。
- 富の偏在について「問題だ」と回答した層は、「富裕層に対する増税」が54.8%と最も多い。

■ 格差を是正できると「思う」回答者

Q 格差を是正するために何をすればよいと考えますか。(複数回答)

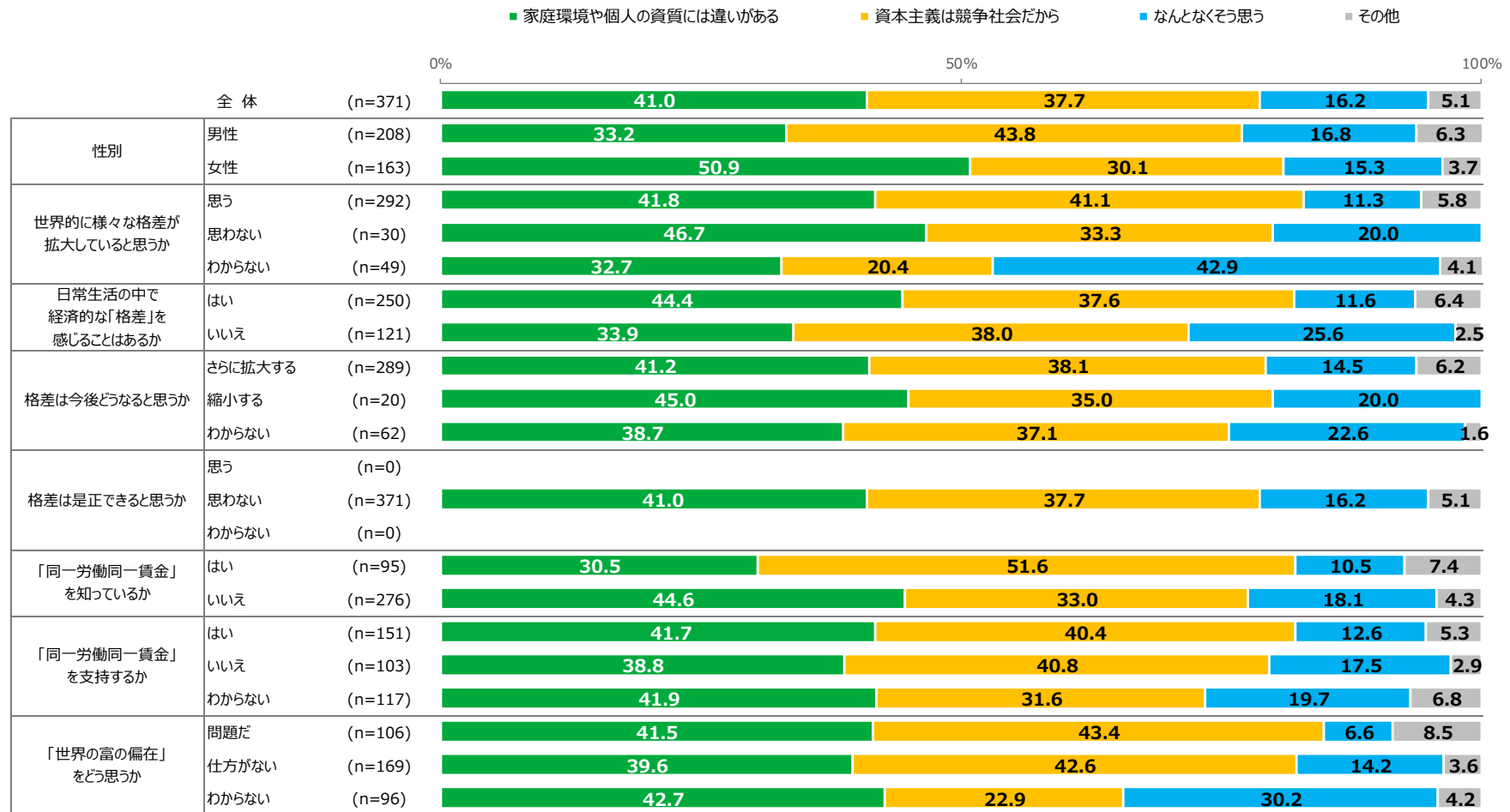


格差を是正できないと思う理由

- 格差を是正できないと思う理由は、「家庭環境や個人の資質には違いがある」が41.0%、「資本主義は競争社会だから」が37.7%。

■ 格差を是正できると「思わない」回答者

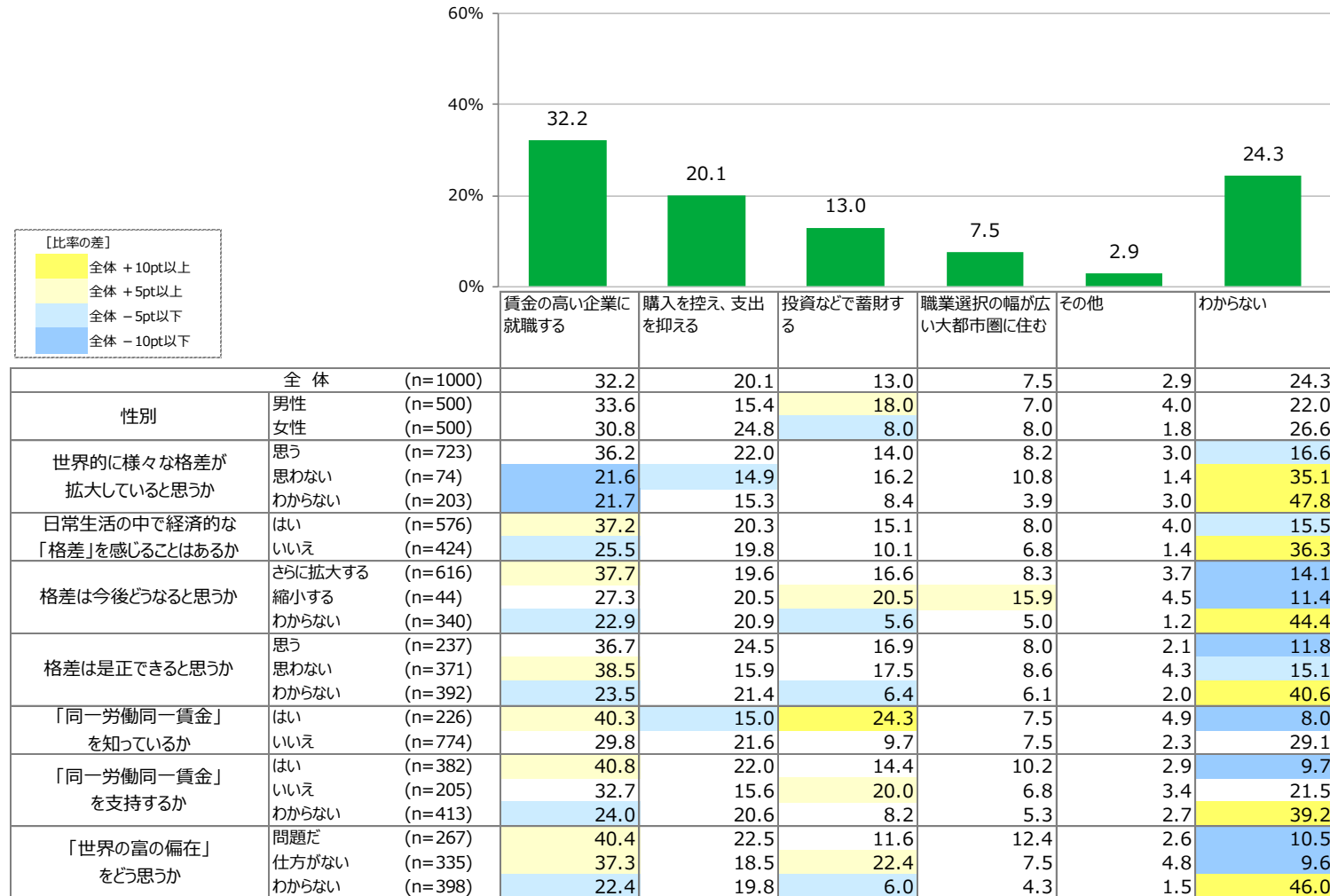
Q 「格差を是正できない」とした人はどうしてそう考えましたか。



格差社会で生きていくためにどのような生き方をするか

- 「賃金の高い企業に就職する」(32.2%)が最多。次に、「購入を控え、支出を抑える」(20.1%)と続く。

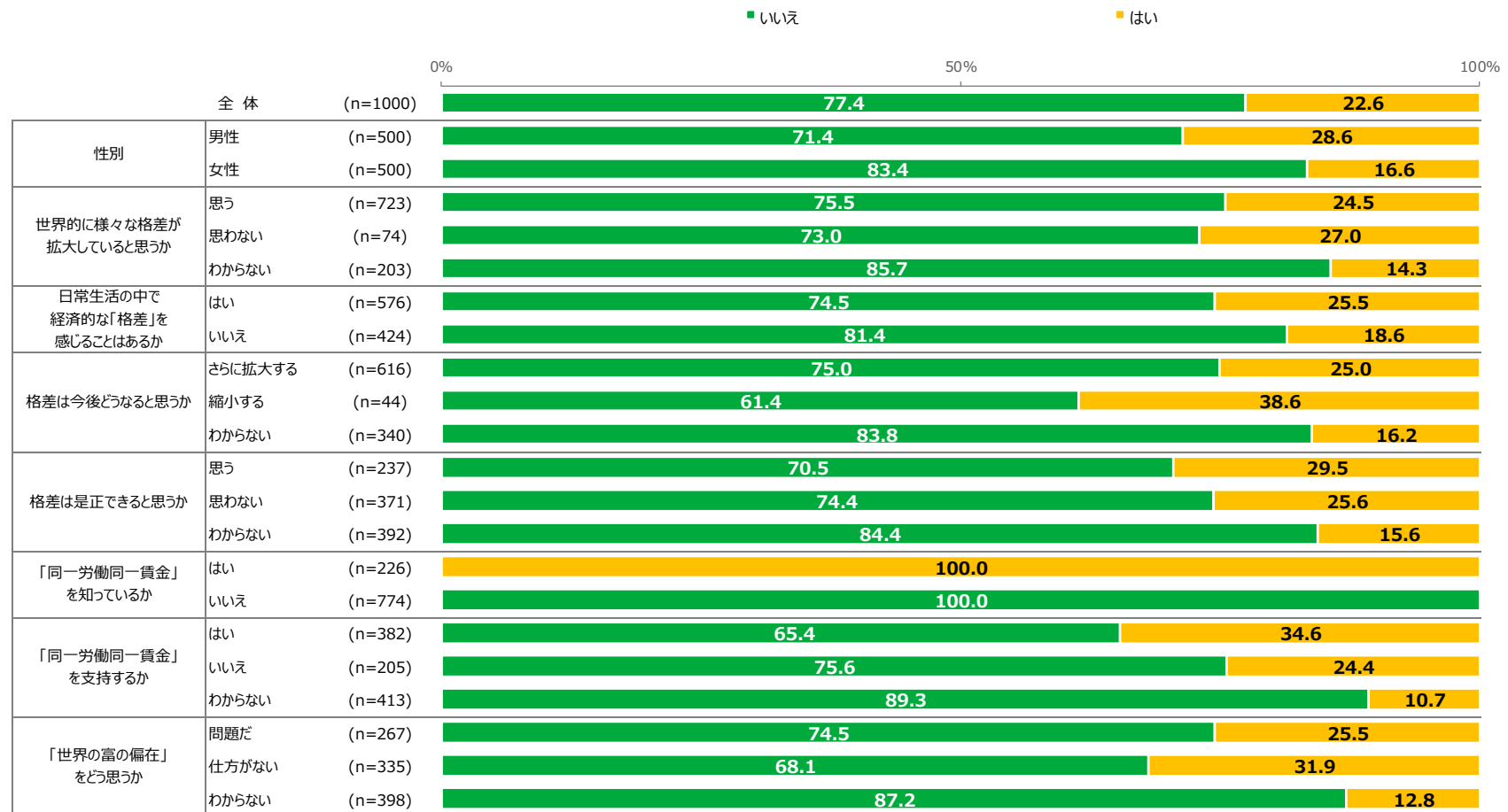
Q 格差社会の中で生きていくために、あなたはどのような生き方をしたいですか。(単一回答)



「同一労働同一賃金」認知

- 77.4%が「いいえ」と回答。認知率は22.6%にとどまる。

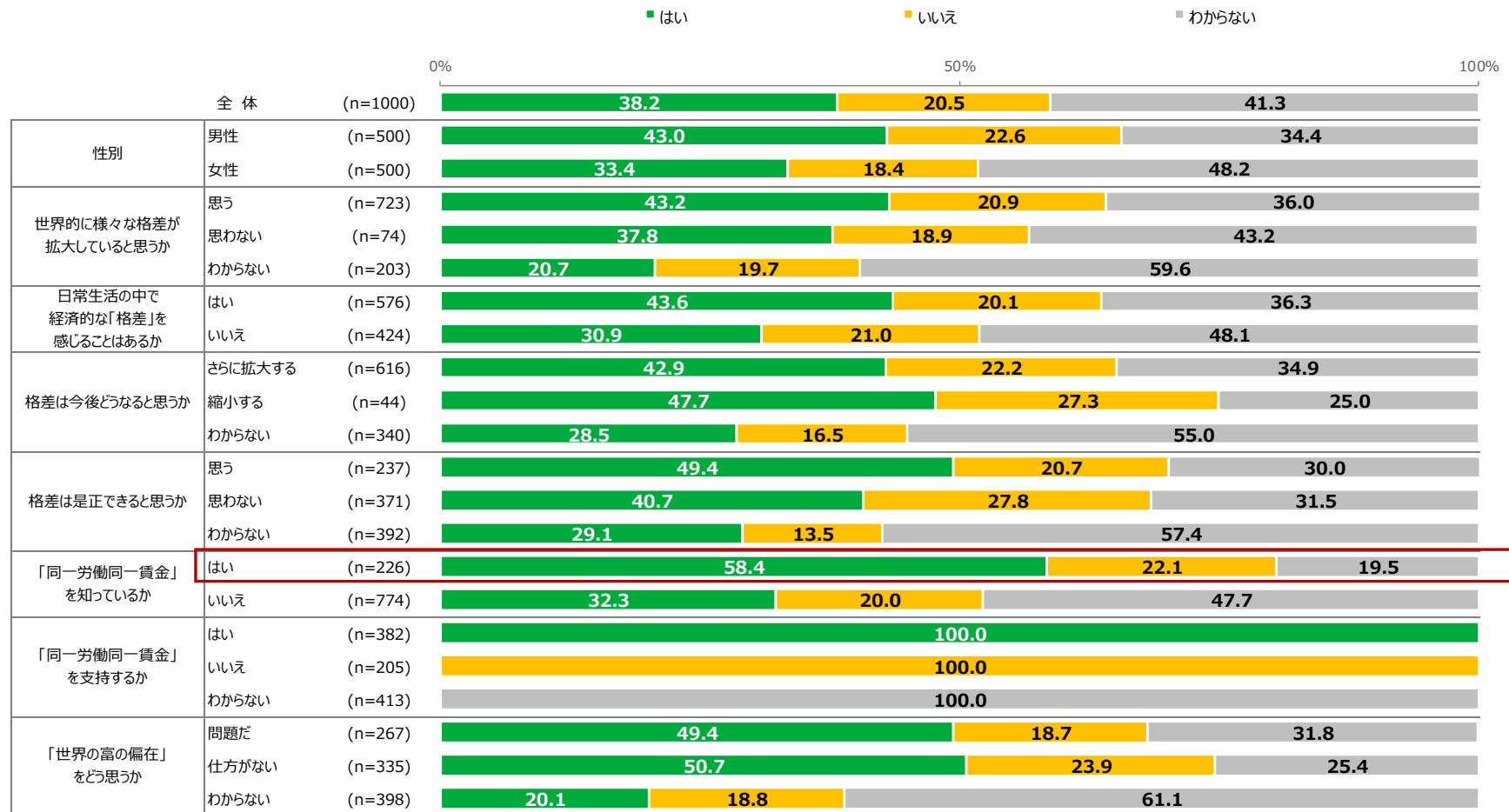
Q 政府は2020年4月から非正規雇用労働者の待遇を改善するために「同一労働同一賃金」を大企業に義務付けます。仕事の内容が同じで能力や成果が同じなら、正社員、非正規を問わず、賃金や交通費、休暇などを同一水準にする法律です。この制度を知っていますか。



「同一労働同一賃金」支持

- 「はい」が38.2%と、「いいえ」(20.5%)を上回る。「わからない」も41.3%と多い。
- 「同一労働同一賃金」認知者は、「はい」が58.4%となっており、支持者が過半数を占める。

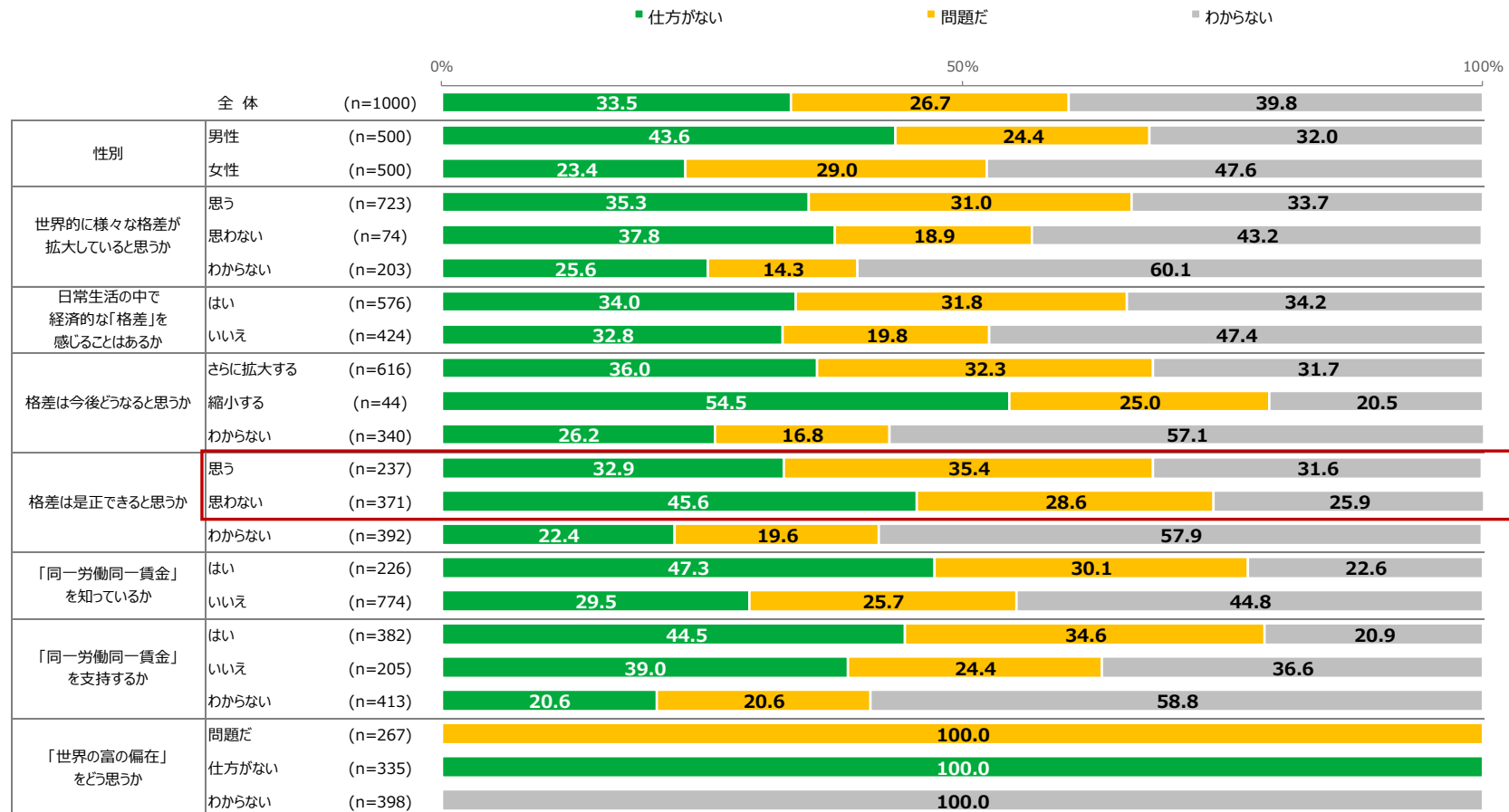
Q 政府は2020年4月から非正規雇用労働者の待遇を改善するために「同一労働同一賃金」を大企業に義務付けます。仕事の内容が同じで能力や成果が同じなら、正社員、非正規を問わず、賃金や交通費、休暇などを同一水準にする法律です。支持しますか。



「世界の富の偏在」をどう思うか

- 「仕方がない」が33.5%、「問題だ」が26.7%。富の偏在は「仕方がない」と考えている割合の方が多い。
- 格差は是正できると回答した層は、「問題だ」が35.4%と全体に比べて多い。一方、格差は是正できないと回答した層は、「仕方がない」が45.6%となった。

Q 資産10億ドル以上の富裕層2100人余の資産合計が、総人口の約6割にあたる46億人の資産合計を上回っているとの報告があります。（出典：国際NGO「オックスファム」が発表した『世界の富の偏在に関する報告書』）
これについて、どう思いますか。



「世界の富の偏在」について 「仕方がない」「わからない」 回答理由

- 「仕方がない」の理由は、「富裕層の人は社会に貢献した結果だと思うから」「稼いでいる人はそれなりに努力したりしている」など、個人の努力や才能によって生まれた結果であるという意見が目立った。また、「これが資本主義」「資本主義社会なため貧富の差がでてしまうのは仕方がない」「仕組みを変えなければどうすることもできない」など、資本主義である限り、経済格差ができてしまうのは仕方がないことであるという内容も多くあがった。
- 「わからない」の理由は、「よく理解できないから」「何が問題なのか分からないから」などの回答のほか、「格差は嫌だと思うが、…個人の問題だから」「問題だが、それと同時に彼らによって経済が回っているため」など、格差がありすぎることに問題意識はあるものの、是正すべき課題とは捉えていない回答も見られた。

(前問：資産10億ドル以上の富裕層2100人余の資産合計が、総人口の約6割にあたる46億人の資産合計を上回っているとの報告があります。

(出典：国際NGO「オックスファム」が発表した『世界の富の偏在に関する報告書』) これについて、どう思いますか。)

Q 前問でそのようにお答えになった理由をご記載ください。(自由回答抜粋) (仕方がない：n=335、わからない：n=398)

「仕方がない」回答理由

- お金持ちのおかげで経済が回っているし、お金を持っている人が稼いだということはその分世界も成長しているから (女性)
- 自分で努力した結果がそれであって、努力もしたことがない人間が結果的に貧乏になったのは仕方がない事。(男性)
- 人それぞれに成功の理由があり、ちゃんと自分の才能を活かして稼いだ人も中にはいると思うから (男性)
- そういう人は多少の才能はあるとはいえ、並々ならぬ努力や苦悩をしてきた人であるため。(男性)
- 多く資産のある富裕層の人は社会に貢献した結果だと思うから。(女性)
- これが資本主義。(男性)
- 稼いでいる人はそれなりに努力したりしている人もいるから (女性)
- 稼いでる人間が沢山金持つのは当たり前でしょ (男性)
- 経済格差は資本主義の結果であり、資産は自分のそれなりの結果だから (男性)
- 個人の努力の結果 (男性)
- 仕方がないから (男性)
- 資本主義社会なため貧富の差がでてしまうのは仕方がない (男性)
- 世界の仕組みとして利益をうむことしか政治や経済は考えてないから。(男性)
- 能力差から経済格差が生まれるのはごく自然なことであるため。みんな平等な給料になればなるほど、国は社会主義化し、産業は衰退すると考える。(女性)
- 資産を持っている人間が持っていない人間に資産を回そうと思わない限りどうにもならないから。(女性)
- 仕組みを変えなければどうすることもできない (女性)
- 差がついてしまうのは資本主義だから仕方がないと思うから (女性)
- どうにか出来てないのが現実なら仕方が無いと思った (女性)
- 格差はどうしても生じるから (女性)
- 民主主義と資本主義があるかぎり仕方がない。共産主義や社会主義よりは良い。(男性)

「わからない」回答理由

- あまり実感がわからないから。(男性)
- よく理解できないから。(男性)
- わからないから (女性)
- この報告に対して、何が問題なのか分からないから。(男性)
- その問題についてよく知らないし興味がないため (男性)
- どう対処すればいいのか分からないから (女性)
- もっと詳しくそうな仕組みについて知らないため正しく判断できないから。(女性)
- 仕組みがよくわからないから (男性)
- 初めて聞いたから (女性)
- 想像がつかないから (女性)
- 難しい問題 (男性)
- 格差は嫌だと思うが、自分で考えて稼いでいるのだとしたら個人の問題だから (女性)
- 富裕層たちに多くお金が行きすぎてしまっていることは問題だが、それと同時に彼らによって経済が回っているため。(男性)

【世界の富の偏在について 回答理由「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

「世界の富の偏在」について 「問題だ」 回答理由

- 「問題だ」の理由としては、「あまりに差があるので貧困層に何らかの形で多少富を分配すべきだと思うから」「資産の多い人からもっと税金を取って社会に分配すべきだと思う」「富裕層のお金が、より必要としている人たちに行き渡るべきだと思うから」など、再分配をするべきであるという意見が多くあがる。
- また、「富が集中しているとうまく循環せず格差が拡大するため」「経済が循環せず、一部の富裕層のみが得をする寡占状態であるから」「下位の者に下克上を起こす(大金持ちになる)チャンスも与えられていないのが問題である」など、富が集中し、より格差が拡大していく悪循環を生んでしまうと懸念する声も目立った。

(前問：資産10億ドル以上の富裕層2100人余の資産合計が、総人口の約6割にあたる46億人の資産合計を上回っているとの報告があります。

(出典：国際NGO「オックスファム」が発表した『世界の富の偏在に関する報告書』) これについて、どう思いますか。)

Q 前問でそのようにお答えになった理由をご記載ください。(自由回答抜粋) (問題だ：n=267)

「問題だ」回答理由

- あまりに差があるので貧困層に何らかの形で多少富を分配すべきだと思うから (女性)
- 資産の多い人からもっと税金を取って社会に分配すべきだと思う。(男性)
- 富裕層のお金が、より必要としている人たちに行き渡るべきだと思うから。(女性)
- 分配されるべきお金が独り占めされているように思うため (男性)
- 偏り過ぎている。どれだけ贅沢な生活をしたとしても余るくらいのお金だと思うので、他に回せる分は回した方がいい (女性)
- 富が集中しているとうまく循環せず格差が拡大するため (男性)
- たくさんのお金が動くことなく固められていて、とても残念でしかたない。富裕層こそお金を使って経済にお金を回してほしい。(男性)
- お金に困り、飢餓などで苦しい国もあるのに、有り余る程のお金を持つ人々がいるなんてあまりにも差がありすぎるから。(女性)
- この数字を見て非常に大きな格差を感じたから (男性)
- それだけお金があるのならオーストラリアの火災や東南アジアの国々への支援などをすべき (女性)
- もちろん個人の能力やがんばりに応じて富は分配されるべきだが、明らかな「行き過ぎ」。また、下位の者に下克上を起こす(大金持ちになる)チャンスも与えられていないのが問題である。つまり、生まれ持った家柄である程度固定された所得や社会的地位が定められていて、カースト制度さながらであるから (女性)
- 一部の人が豊かすぎるから。(女性)
- 餓死しそうながいる中、こんなにも格差があるのはおかしい (女性)
- 経済が循環せず、一部の富裕層のみが得をする寡占状態であるから (女性)
- 個人の質で経済的な差が発生するのは仕方ないが、差が大きすぎる (女性)
- 少数者が富のほとんどを所持し、大多数が苦しむ世界はおかしい (男性)
- 想像を超えてた (男性)

【世界の富の偏在について 回答理由「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/